



「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキ ケンスケさんのプロジェクト OVET THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業をし、生徒は授業中の飲食を可としています。

台風 19 号の被害と防災対策

台風 19 号「ハギビス」被害拡大、死傷者増え続ける
記録的豪雨で河川氾濫【2019 年 10 月 14 日】



台風 19 号によって、各地で年間降水量の約 40% が 1 日や 2 日で集中的に降った。神奈川県箱根町では 48 時間の雨量が 1001 ミリに達し、観測史上最高を記録した。記録的な大雨を受けて 12 日夜から 13 日午後にかけて、東京を流れる多摩川、福島県や宮城県を流れる阿武隈川、長野県を流れる千曲川など一級河川を含む河川が氾濫し、多くの地域で広範囲にわたり浸水・冠水した。

また、各地で多くの商店や民家が、窓ガラスを補強したり、土嚢（どのおう）を積んだりして備え、スーパーやコンビニでは食料品、ホームセンターでは養生テープなど防災用品の売り切れが相次いだ。

相次いで台風被害の起こる日本では、地方自治体や地域だけでなく、個人での災害対策のありかたが重要視されている。

台風が去った今でも、引き続き 2 次災害などに注意していく必要があるだろう。



首都圏の公共交通機関のほとんどは、終日運休となった



台風 19 号後の浸水被害の様子

いま私たちは災害のほとんどない国、シンガポールに住んでいます。だからこそ、自分たちの母国である日本の災害について改めて考え直していかなければなりません。

とはいえ、現代の情報社会ではひとえに正しい対策をしようと言っても難しいものです。一概に“正しい”といっても、いざ災害が起こった時に、必ずしもその対策が役立つとは限りません。いつ、何が起こるか分からない中で一番大切なのは、**臨機応変な対応力**なのではないかと思うのです。そのためには、常に冷静で客観的な視点をもつこと、そして他人の意見ややり方を受け入れられる広い心を持つことが大切なのではないでしょうか。

(山谷)

～お知らせ～

近日、台風 19 号の被害のためのチャリティー募金を行う予定です。日程等詳細については、後日お知らせ致しますので、ご協力いただけますと幸いです。何卒どうぞよろしくお願い致します。